

第4回 世界狂犬病デー シンポジウム

2011 JAPAN



WORLD RABIES DAY
SEPTEMBER 28

狂犬病のない国であり続けるために

世界では、毎年5万人以上の人命を奪っている狂犬病。
日本で今発生がないのは奇跡的なこと。
万が一、狂犬病ウイルスが日本に侵入してしまったら、今のワクチン接種率ではまん延を防げないかもしれません。

9月28日は、世界狂犬病デー

狂犬病ワクチンの開発者であるパスツールの命日に、世界中で狂犬病撲滅にむけて行事が行われます。この機に、今一度、**狂犬病予防の“必要性”**を考えてみませんか。

日時 2011年9月28日水曜日 13時～16時

(12時半 受付開始)

場所 アリミノビル地下ホール (東京都新宿区下落合1-5-22)

内容

「講演:我が国は狂犬病の再流行を防ぐことができるか?」

源 宣之(岐阜大学名誉教授)

「ワークショップ:狂犬病のない国でありつづけるために」

佐藤 克(狂犬病臨床研究会会長)・島村 麻子(東京都獣医師会かんらん支部)

主催 狂犬病臨床研究会

共催 (社)東京都獣医師会

運営 世界狂犬病デー実行委員会 (狂犬病臨床研究会内)

後援(申請中含む) 厚生労働省・農林水産省・環境省・東京都・(社)日本獣医師会・

(社)日本動物福祉協会・(社)東京都家庭動物愛護協会・日本獣医学生協会

協力 アニコム予防委員会・(財)松岡科学研究所・(社)ペットフード協会

問合せ先 世界狂犬病デー実行委員会

(社)東京都獣医師会 電話:03-3475-1701(平日10:00~16:00)

参加お申し込みは、FAX: 03-5925-6959 (アニコム予防委員会) で!

お名前:

電話番号:

所属名:

(動物病院 ・ ペットショップ ・ フリーダー ・ 行政 ・ 企業 ・ メディア ・ その他) ○をお願いします

第4回 世界狂犬病デー シンポジウム

2011 JAPAN

講演



源 宣之(みなもとのぶゆき)

岐阜大学名誉教授。北海道大学獣医学部獣医学科卒。獣医学博士。岐阜大学農学部獣医学科講師、同助教授を経て、1995年7月より同教授。2006年より現職。専門は人獣共通感染症学。特に狂犬病ウイルスおよびロタウイルスについての研究を精力的に推進されている。

ワークショップ

佐藤 克(さとう・まさる)

狂犬病臨床研究会会長。佐藤獣医科院長。日本獣医生命科学大学卒。人獣共通感染症、特に狂犬病に興味を持ち、臨床の傍ら、海外の情報収集、国内における啓発活動を行っている。現在はイヌ狂犬病臨床診断方法について研究を進めている。

島村 麻子(しまむら・あさこ)

東京都獣医師会かんらん支部会員。アニコムホールディングス経営企画部部長。日本獣医生命科学大学卒、同大学保健看護学科非常勤講師。獣医師として、アニコム予防委員会をたちあげ、ひととどうぶつによりよい共生に向けた啓発活動を担当。

会場図

■ アリミノビル地下ホール

東京都新宿区下落合1-5-22

JR山手線

高田馬場駅 早稲田口より徒歩5分

西武新宿線

高田馬場駅 早稲田口より徒歩5分

東京メトロ東西線

高田馬場駅 1番出口より徒歩5分



世界狂犬病デー実行委員会

佐藤克(狂犬病臨床研究会)、上野弘道(東京都獣医師会)、島村麻子(東京都獣医師会)、
井上舞(アニコムホールディングス)、松岡研司(松岡科学研究所)、
川重結子(マース ジャパン リミテッド)、山口千津子(日本動物福祉協会)、小林定正(ファイザー)